

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動



デコ活応援団（官民連携協議会）
第21回会合

令和8年6月26日(金)

6月26日(金)10時00分～11時30分(予定) オンライン

1 デコ活応援隊からのお知らせ

- (1) デコ活における連携・サポート内容の紹介
- (2) 「デコ活」推進事業（補助金）の状況
- (3) デコ活応援団専用ページの更新（連携実践プロジェクト一覧の掲載）

2 デコ活共創ラボキャンペーン2026のお知らせ

- (1) 共創活動・伴走支援の強化
- (2) デコ活応援団の共創機会強化
- (3) デコ活関連情報発信の強化

3 デコ活応援団からのご提案(別紙)

(ご提案) ヤマハ発動機株式会社

4 関連府省庁等からの情報提供(別紙)

環境省（資源循環課、ファッションと環境タスクフォース、住宅・建築物脱炭素化事業推進室）

5 うちエコ診断について(別紙)

広島県、一般社団法人地球温暖化防止全国ネット

6 次回情報

質疑応答、意見交換時の留意事項

- 多くの方に発言いただけるよう、発言は簡潔明瞭に**1～2分程度**でお願いします。
- 発言を希望される方は、**Zoom上で挙手**又は**Q&Aへの送信**をお願いします。

1 デコ活応援隊からのお知らせ

(1) 「デコ活」における連携・サポートの紹介

- 「デコ活」における主な連携・サポートは、以下のとおりです。
- 詳細は、ポータルサイト (<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/>) をご確認ください。

「デコ活応援団」による 連携・マッチング

官民連携で「デコ活」の効果的な実施につなげるため、国・企業・地方公共団体・団体等の連携・実践の場 & 情報共有・意見交換の場として、**企業・地方公共団体・団体等による官民連携協議会「デコ活応援団」**を設立。3か月に1回の**オンライン会合**を開催し、新規取組提案による企業や地方公共団体等の**マッチング機会**として活用。

「デコ活応援団」 (新国民運動官民連携協議会)

4,145主体
(2,500企業、364地方公共団体、
513団体、768個人)
令和8年6月5日時点



脱炭素型「取組・製品・サービス」 の発信

組織（企業・地方公共団体・団体）、個人単位で「デコ活宣言」を呼びかるとともに、ポータルサイトにおいて、「**脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを支える取組・製品・サービス**」の登録を受付け。登録いただいたものは、ポータルサイトやSNS等で発信。

脱炭素に資する取組・製品・サービス

デジタルも駆使して、多様で快適な **働き方、暮らし方** を後押し (テレワーク、地方移住、ワーケーションなど)



1

脱炭素につながる新たな暮らしを支える **製品・サービス** を提供・提案



2

インセンティブ や効果的な情報発信 (気づき、ナッジ) を通じた行動変容の後押し (消費者からの発信も含め)



3

地域 独自の (気候、文化等に応じた) **暮らし方** の提案、支援



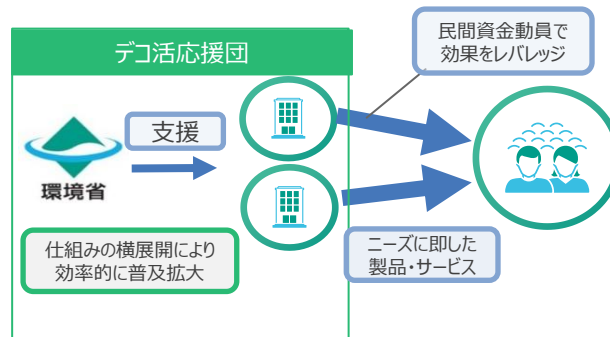
4

補助金事業による 社会実装型取組支援

マッチングファンド方式により、民間の資金やアイデア等を動員し、「**新しい豊かな暮らし**」を支える **製品・サービスを効果的・効率的に社会に実装するためのプロジェクト** を実施。
※補助率：定額 (1/3相当)

社会実装型取組支援

デコ活応援団を通じ、マッチングファンド方式により、民間の資金を動員(レバレッジ)、ニーズに即した具体的な選択肢を提示することで波及効果を拡大



(2)「デコ活」推進事業（補助金）の状況

令和7年度補正予算・令和8年度当初予算案

- デコ活補助金では1次公募で7件の採択を行い、現在2次公募を実施しております。
- 採択関連情報を下記の執行団体のウェブサイトに掲載しておりますので、適宜、ご覧ください。

公募期間

3/13～4/15 一次公募 13件の応募の中から、審査委員会を経て7件が採択
6/19～7/1 二次公募 環境配慮行動普及促進事業費補助金及び二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）推進事業）で「暮らしの10年ロードマップ」の「基盤」を除いた6分野で募集をしています。

補助金の概要

【マッチングファンド方式（連携協働型社会実装助成方式）】

事業実施主体 2（複数主体による連携事業でヒト・モノ・カネ等を持ち寄り）：国 1（リスクマネー提供）を上限に定額補助

【補助上限額】

- ・広域規模事業 3億円（二以上の都道府県で多数の主体への効果が見込まれるもの）
- ・地域規模事業 1億円（一都道府県内での効果が見込まれるもの）

補助金執行団体

一般社団法人地域循環共生社会連携協会

※詳細は、以下のサイトをご確認ください。

[一般社団法人地域循環共生社会連携協会（一般社団法人低炭素社会創出促進協会）（rcespa.jp）](http://rcespa.jp)

環境配慮行動普及促進事業費補助金及び二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金
 (「デコ活」(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動) 推進事業) 採択事業者一覧

※ロードマップ分野別、代表事業者名50音順

| くらしの 10年ロード マップ関 係箇所 | | 代表事業者名 | 共同事業者名 | 事業名 |
|-------------------------------|------|----------------------|--|--|
| 住 | 広域規模 | mui Lab株式会社 | 北海道ガス株式会社 | 寒冷地住宅における快適性と脱炭素を両立する機器制御による行動変容促進事業 |
| 衣 | 地域規模 | エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 | 青山商事株式会社、Earth hacks株式会社、大阪府 <small>連携事業者：サステナブルファッション・プラットフォーム協議会、一般社団法人 JAPANゼロカーボン・スマートシティ・ファウンデーション</small> | サステナブルファッション・プラットフォーム協議会による地域とともに実現する廃棄衣類ゼロエリア事業 |
| 移 | 地域規模 | 三菱自動車工業株式会社 | 東日本三菱自動車販売株式会社 <small>連携事業者：東京電力パワーグリッド株式会社東京総支社、東京都新島村</small> | 離島におけるEV普及×車両データ活用によるレジリエンス向上モデル構築事業 |

環境配慮行動普及促進事業費補助金及び二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 (「デコ活」(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動) 推進事業) 採択事業者一覧

※ロードマップ分野別、代表事業者名50音順

| くらしの 10年ロー ドマップ関 係箇所 | | 代表事業者名 | 共同事業者名 | 事業名 |
|-------------------------------|------|-----------------|---|---|
| 基 | 広域規模 | Earth hacks株式会社 | Vポイントマーケティング株式会社、 BALDR株式会社 | 購買・行動ビッグデータ×AI活用による環境 価値表示で紐解く属性・商品別の脱炭素行 動変容効果検証事業 |
| 基 | 地域規模 | 愛媛県 | 株式会社フジ 連携事業者：株式会社中国四国博報堂 愛媛支社、Earth hacks株式会社 | デカボえひめプロジェクト推進事業 |
| 基 | 広域規模 | 株式会社スクウェア・エニックス | ENECHANGE株式会社 | ゲーミフィケーションを活用した脱炭素型ライフ スタイル転換促進事業 |
| 基 | 広域規模 | 楽天グループ株式会社 | 一般社団法人サステナブル経営 推進機構 | 購買行動連動型CO2削減量可視化システ ム(個人カーボンアカウント)の社会実装に よる消費者の行動変容促進事業 |

(3) デコ活応援団専用ページの更新 「巻末資料」(プロジェクトの進捗状況)の移転

■従来、デコ活応援団会合資料に記載されていた、「巻末資料」(「プロジェクトの進捗状況」)につきましては、応援団専用コンテンツ内の「**連携実践プロジェクト一覧**」に移転しました。

【従来】

<デコ活応援団専用コンテンツ>



NEW!

デコ活応援団第20回会合動画はこちら



第20回資料はこちら

デコ活応援団会合資料

各回のデコ活応援団会合資料の閲覧、ダウンロードが可能です。

2026年3月13日

デコ活応援団第20回会合

資料一式(zip:30.7MB) ↓

デコ活応援団(官民連携協議会)第20回会合資料(3.4MB) @

【現在】



デコ活応援団専用コンテンツ

デコ活応援団(官民連携協議会)会合資料の事前公開、過去資料及び過去動画、今後の開催予定、過去のメールマガジン、連携実践プロジェクトの一覧の公開を実施しております。

[デコ活応援団会合資料はこちら](#)
[デコ活応援団会合動画はこちら](#)
[今後の予定はこちら](#)

[デコ活応援団メールマガジンはこちら](#)
[連携実践プロジェクト一覧はこちら](#)



連携実践プロジェクト一覧

デコ活応援団会合にて、脱炭素に資する取組について複数者での連携をご提案いただいたプロジェクトについて、これまでに募集があった案件の一覧を掲載しております。

現在募集中の連携実践プロジェクト一覧
[はこちら](#)

過去に実施していた連携実践プロジェクト一覧
[はこちら](#)

2 デコ活共創ラボキャンペーン2026のお知らせ

始まります！

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動



デコ活

くらしの中のエコろがけ

デコ活共創ラボキャンペーン

2026

デコ活共創ラボキャンペーン2026（実施期間：2026年6月～12月）

- 7月より、デコ活応援団に参画頂いている皆様をさらに強かにサポートするために3つの機能強化を実施

実装する

共創活動・伴走支援の強化



■ 案件組成支援等の強化

- ✓ 補助金活用も見据え、マッチング・案件立ち上げから伴走支援
- ✓ 最適なマッチング支援にあたり、ニーズ・シーズ調査を実施

■ デコ活補助金

- ① 広域規模事業：上限3億
- ② 地域規模事業：上限1億
(事業者・団体等2:国1以内とする定額)

つなげる

デコ活応援団の共創機会強化



■ 関連企業間のネットワーキング

- ・ ワークショップ
- ・ トークセッション
- ・ 交流会

広げる

デコ活関連情報発信の強化



- 共創事例の発信
- 最新情報・トレンド情報の発信
- 最新インサイトレポートの発信

デコ活応援団参画者が得られるメリット

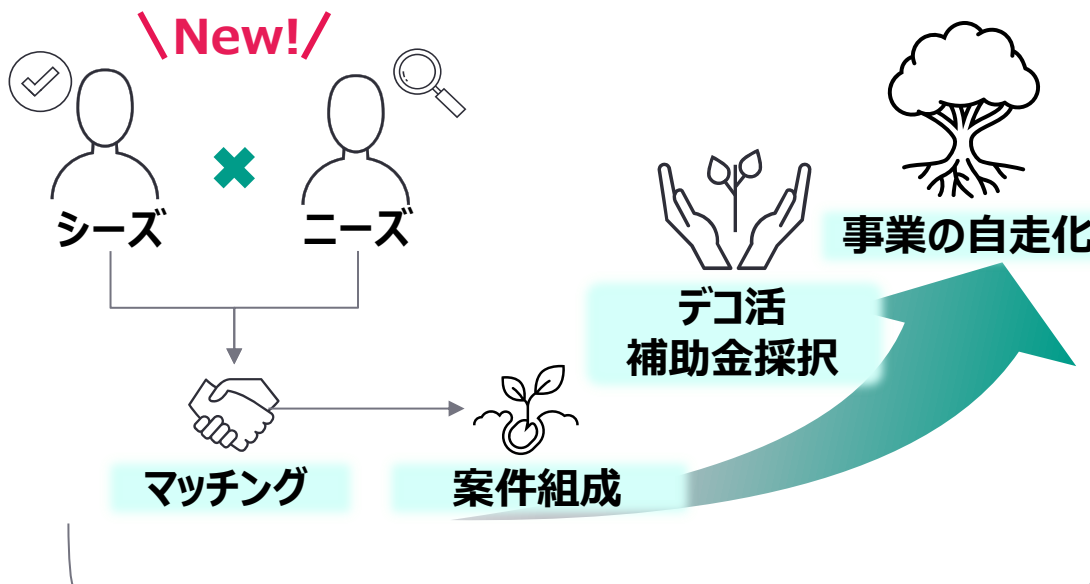
- ❗ 補助金も活用した事業の創出・拡大
- ❗ 新たなパートナーとのネットワーキング・ビジネスチャンスの拡大
- ❗ 最新情報・最新事例の収集

このチャンスを
是非ご活用ください！！

デコ活共創ラボキャンペーン2026 主な取組

実装する 共創活動・伴走支援の強化

参画団体のニーズとシーズを繋ぎ、伴走支援を通じて国民の行動変容を促す事業の自走化を支援



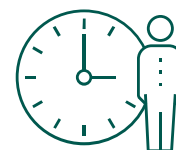
一気通貫での
伴走支援



 環境省 デコ活応援隊・デコ活応援団事務局
Ministry of the Environment


Building a better
working world

実施時期



✓ 2026年6月26日
～
2026年12月25日

参加方法



- ✓ 期間中、随時受付
- ✓ まずは、デコ活応援団事務局へご相談ください

デコ活応援団事務局
Mail:decokatsu.office@jp.ey.com

※希望者多数の場合は、受付順での
対応となる可能性があります

デコ活共創ラボキャンペーン2026 主な取組

実装する 共創活動・伴走支援の強化

国民の行動変容に資する事業創出に向けた一貫通貫での伴走支援を実施

デコ活補助金とは…

概要

- 国民の行動変容やライフスタイル転換を通じた暮らしの改善及び温室効果ガス削減等の環境保全効果が継続的に見込める連携協働型の社会実装に向けたプロジェクトであって、**各主体が連携協働して需要サイドのボトルネックを構造的に解消する仕掛けを国民に提供する事業に要する経費の一部を補助**

補助金の交付方法

- ① 広域規模事業
事業者・団体等 2 : 国 1 以内とする定額(補助金の上限は**3億円**)
- ② 地域規模事業
事業者・団体等 2 : 国 1 以内とする定額 (補助金の上限は **1億円**)

ここがポイント!

座組組成から支援

これからはじめる方も
ぜひご連絡ください!!

事務局の支援内容

補助金活用に向けた 事業検討から支援

事業計画検討も
強力にサポートします!!

さらなる事業拡大に むけた支援

進めている取組を
拡大したい方もご相談ください!!

デコ活共創ラボキャンペーン2026 主な取組（参考）

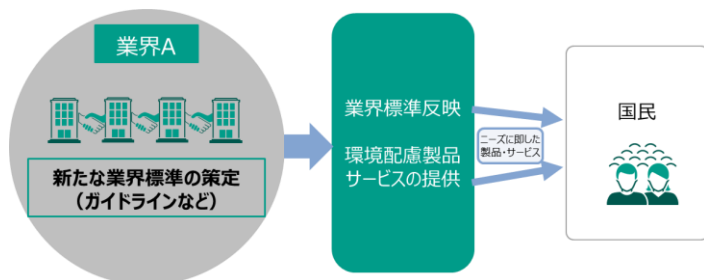
実装する 共創活動・伴走支援の強化

（ご参考）これまでに採択された補助事業のモデル（例）

業界内

① 業界標準・ガイドライン策定型

業界等におけるスタンダードを定め
業界全体で行動変容を加速させるモデル



業界内

② サプライチェーン連携・循環型

サプライチェーンの新たな連携や循環を創出し、
新たな行動変容を起こす仕組みの構築



業界内

③ 業界内共同コンソーシアム型

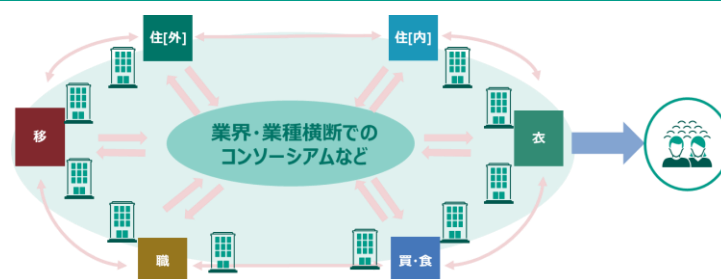
国がサポートを行うことで、業界内の連携を生み出す取組
（競合関係の連携など）



他業界と連携

④ 業界横断コンソーシアム型

業界横断のコンソーシアム等で行動変容を促す仕組み



デコ活共創ラボキャンペーン2026 主な取組（参考）

実装する 共創活動・伴走支援の強化

（ご参考）これまでに採択された補助事業のモデル（例）

他業界と連携

⑤ 新たな付加価値創出型

バリューチェーン上に新たな価値を創出する仕組みの構築



他業界と連携

⑥ プラットフォーム形成型

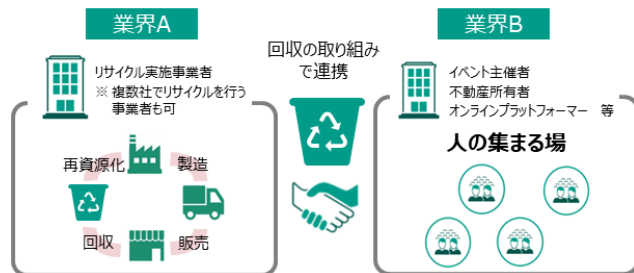
複数テーマを横断し、一括提供する仕組みの構築



他業界と連携

⑦ 集客拠点活用型

集客力のある他業界と連携し、機会を広げる



※ 過去に採択された補助事業のモデルを類型化したものです。補助事業はこのモデルに限られるものではありません。

**少しでも関心のある方は
デコ活応援団事務局までご連絡ください！**

デコ活共創ラボキャンペーン2026 その他の取組①

つなげる

デコ活応援団の共創機会強化

デコ活関連情報発信の強化

参画団体間のコミュニケーション活性化し、共創を加速させる



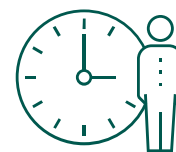
New!!
参画企業の先進事例を通じて
自社のアイデア創出・
新たな連携につなげる
デコ活共創トークセッションを開催

New!!
参画企業同士の強みや課題を
持ち寄り、新たな協業・共創の
きっかけを生み出す
ネットワーキングワークショップを開催



実施時期

- ✓ 第22回会合（9月）
- ✓ 第23回会合（12月）



※トークセッションは会合中（AM）、
ワークショップは会合後（PM）
を予定

参加方法

- ✓ 事務局の公募への申請
※抽選により決定



デコ活共創ラボキャンペーン2026 その他の取組②

広げる

デコ活応援団の共創機会強化

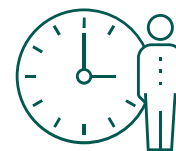
デコ活関連情報発信の強化

デコ活に関する最新情報の取得に加え、共創活動のアイデアのタネを得る



公式SNSを通じて、
デコ活に関する最新動向をお届けし、
新たな事業アイデアのヒントを提供

実施時期



SNS

✓ 随時

インサイトレポート

✓ 7月以降月1回

New! /

選択した取組分野ごとに、
先進事例・施策のヒントを届ける
インサイトレポートで案件組成を後押し

住宅 食 衣 職 移動 基盤

デコ活レポート

- ✓ 関連ニュースのトレンド
- ✓ 共創活動事例の紹介
 - ・ 座組例
 - ・ 活用できる制度例
- ✓ 海外事例の紹介

(一例)

参加方法



SNS

- ✓ 各種SNSフォロー
- ✓ Xにて「#デコ活」で投稿
デコ活公式Xでリポストします！

インサイトレポート

- ✓ 追加の対応事項なし
- ※個人の参画者はメールアドレスの登録が必要です

事務局からのお願い

全てのデコ活応援団の皆様へ

担当者追加登録



- ご担当者様の上限（2名）を撤廃しました！
- 特に新規事業・脱炭素関連事業担当の方にデコ活の取組を共有いただき、ご担当者様として追加ください

▶ 追加の際は右記の情報を事務局宛にご送付ください

- ✓ 組織名
- ✓ 担当者名
- ✓ フリガナ
- ✓ 部署
- ✓ 役職
- ✓ メールアドレス
- ✓ 電話番号

新規事業・脱炭素関連事業担当の方へ

ニーズ・シーズ調査



- ビジネスマッチングのため、デコ活応援団参画団体のニーズ・シーズを調査します

ESG・経営企画関連部署の方へ

▶ ぜひ、新規事業開発に携わる方へもアンケートフォームを転送ください！

全てのデコ活応援団の皆様へ

各種SNSフォロー



- QRコードまたはチャットのリンクより、デコ活SNSのフォローをお願いいたします！

X



Facebook



Instagram



ニーズ・シーズ調査のご案内

■ デコ活共創ラボキャンペーン2026の第一歩として、案件組成に向けたニーズ・シーズ調査を実施します

デコ活共創ラボキャンペーン2026 ニーズ・シーズ調査概要

調査の目的

共創活動・伴走支援の強化が目的



企業の課題・ニーズを可視化し、最適なパートナーとの出会いを創出



シーズ（製品・サービス）の共有を通じて協業・実証・事業化につなげる



デコ活の取組拡大・脱炭素社会の実現を促進

ご回答いただきたい内容



- 解決したい課題・ニーズ
- 連携したい領域・相手像
- 期待する支援・協業の形



- 提供できる技術・サービス
- 活用できるリソース・実績
- 協業・連携の意向・条件

調査結果の活用（予定）



対面ディスカッション機会の提供（ワークショップ・交流会など）



共創・案件組成支援



デコ活の取組拡大・国民運動の推進

対象

- デコ活応援団参画 3,384主体 ※個人除く（2026年6月12日時点）

期間

- 2026年7月10日(金)～7月31日(金)

調査の流れ

① 調査回答



Webフォームより
ご回答ください
(回答時間10分程度)

② 集計・分析



ニーズ・シーズを
整理・分析します

③ 調査結果の活用



マッチングや
共創活動・伴走支援
に役立てます

デコ活共創ラボキャンペーン2026サイトリリースについて

- デコ活応援団参画済み団体に加え、未参画団体への参画促進を目的とし7月中旬にサイトオープンを予定

7月中旬ローンチ!

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動



デコ活

くらしの中のエコろがけ

Coming soon

デコ活共創ラボキャンペーン

2026

3 デコ活応援団からのご提案

連携実践プロジェクトの新規提案

- 新たに連携実践プロジェクトの提案がありました。連携先を募集しておりますのでご関心のある方は、事務局までご連絡ください

プロジェクト内容

参加企業・団体

「場・機会」の提供者

「製品・サービス」の提供者

企業・団体名 期待される役割

企業・団体名 期待される役割

電動アシスト自転車「PAS」を活用した日常移動の行動変容促進プロジェクト

- 他のモビリティと比べてCO₂排出量が極めて低い電動アシスト自転車を活用し、通勤・買い物・通院等の日常移動の環境負荷低減を図ります。
- 企業・自治体・団体等と連携し、実証・試行導入・啓発活動を通じて、楽しくムリなく続けられる脱炭素行動への転換を促進します。
- あわせて、利用者の健康増進や地域内回遊の活性化など、脱炭素以外の付加価値創出も目指します。

提案者

ヤマハ発動機
SPV事業部

企業/団体/
国・自治体

- 当社オウンドメディアや各種SNSを使ったPR・発信 / メディアアプローチ
- 各種実証実験への参画

連携先募集：
随時

- 従業員・住民・施設利用者等を対象に、電動アシスト自転車「PAS」を活用した移動転換の実証や試行導入の場をご提供いただける企業・自治体・団体を募集します。

【現在進行中の事例（一部）】

企業：通勤利用推進、従業員限定シェアサイクルサービス(駅～職場～周辺施設)

住宅：マンション備え付けサービスの提供

地域・高齢者：シニア向け啓蒙活動（6輪生活）

提案者

ヤマハ発動機
SPV事業部

企業/団体/
国・自治体

- 実証・試行導入に必要な電動アシスト自転車「PAS」の提供・貸出
- 安全利用・運用定着に向けたメンテナンス、運用サポートの提供
- シニア層や利用者向けの啓発ツール提供による参加促進支援

- 小規模な実証や短期間のトライアルからでも歓迎しております。通勤、地域回遊、健康増進、高齢者支援など、さまざまなテーマでの連携が可能ですので、お気軽にご相談ください。

連携先募集：
随時

6 次回情報

第22回デコ活応援団会合

日時：

- **令和8年9月11日(金)10時～12時(予定)** オンライン

議事内容 (現時点想定)：

- デコ活応援隊からのお知らせ
- デコ活応援団からのご提案・ご報告
- デコ活応援団トークセッション
- 関連府省庁等からの情報提供
- その他

会合終了後、会合の様子を収めたアーカイブ動画を共有いたします。

アンケートのお願い

第21回デコ活応援団会合に関するアンケートにご協力ください

- 次回（第22回）デコ活応援団会合に向けた連携実践プロジェクトの提案
- デコ活応援団の活動に関するご意見・ご提案

令和8年7月6日(月)までにご回答お願いします。



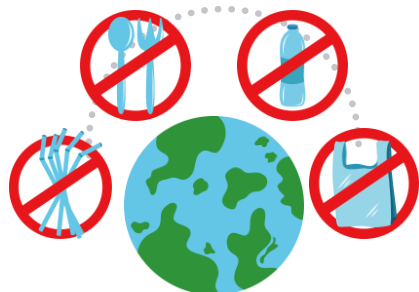
リンク：https://globaleysurvey.ey.com/jfe/form/SV_dgpsdfoJHIjEuiy

參考資料

「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）とは

- 2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向け、2022年10月に発足した国民のみなさまの**行動変容・ライフスタイル転換**を強力に後押しするための新しい国民運動です。
- 脱炭素につながる将来の豊かな暮らしの全体像・絵姿をご紹介するとともに、**国・自治体・企業・団体等が連携**し、国民のみなさまの新しい暮らしを後押しします。

脱炭素の実現に向け、暮らし、ライフスタイルの分野でも大幅なCO₂削減が求められます。



しかし、国民のみなさまの行動に具体的に結びついていない状況です。



①例えば10年後など、脱炭素につながる**将来の豊かな暮らしの全体像、絵姿**をお示しします。



②国、自治体、企業、団体等で共に、**国民のみなさまの新しい暮らしを後押し**します。



国際的（G7・G20等）にも

- 日本から**製品・サービスをパッケージにした新しいライフスタイルの提案・発信**
- **官民連携によるライフスタイル・イノベーションの国際協調を提案・発信**



国内での新たな消費・行動の喚起とグローバルな市場創出を促します。

「デコ活」の全体像（脱炭素につながる将来の豊かな暮らしの絵姿）

- 今から約10年後、**生活がより豊かに、より自分らしく快適・健康**で、そして2030年温室効果ガス削減目標も同時に達成する「新しい豊かな暮らし」を提案をします。



新国民運動の愛称「デコ活」

■ 2023年7月に愛称が「デコ活」に決定し、同年8月、ロゴマーク、メッセージ、アクション等も決定しました。



上白石
萌音
さん

サンドウィッチマン
伊達
みきお
さん

富澤
たけし
さん

俵
万智
さん

小池
都知事

西村
環境大臣(当時)

十倉
経団連会長

道場
六三郎
さん

高橋
尚子
さん

榎
太一
さん

足立
梨花
さん

田牧
そら
さん

愛称

国民に広く公募し（8,200件の応募）、愛称公募選定会議で「デコ活」※に決定（生みの親↑）
 ※二酸化炭素(CO₂)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と環境に良いエコ(Eco)を含む"デコ"と活動・生活を組み合わせた新しい言葉

◆ ロゴ・メッセージ・アクション



◆ “くらしの10年ロードマップ”を策定
 進捗フォローアップを行い計画的に実行

デコ活アクション

まずはここから

- デ** 電気も省エネ 断熱住宅
- コ** こだわる楽しさ エコグッズ
- カ** 感謝の心 食べ残しゼロ
- ツ** つながるオフィス テレワーク

普及浸透
↓
実践

「くらしの10年ロードマップ」の策定

- デコ活応援団における協議やパブリックコメントの内容を踏まえ、2024年2月に「くらしの10年ロードマップ」を策定しました。

策定の背景

「新資本主義実行計画（R5.6.16閣議決定）」に基づき、国民のみなさまの行動変容・ライフスタイル転換を促し、脱炭素につながる新しい価値創造・豊かな暮らしを実現するために必要な方策・道筋を示すべく策定しました。

※「新資本主義実行計画（R5.6.16閣議決定）」における記載内容

「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしをつくる国民運動」を通じ、国民・消費者の行動変容・ライフスタイル変革等を促すため、グリーンライフ・ポイントやナッジの活用等も含めたロードマップを2023年度中に策定する。」

分野と今後

絵姿に基づき、暮らしの全領域（衣食住・職・移動・買物）を7つの分野に分けました。

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-------------------------------|-----------|-----------------------------|--------|------------------------------|----------|------------------------|--------|----------|--------|-----------------------------|---------|-----------------------|
| ① 住[外] | 住宅の省エネ化・再エネ導入 (断熱化、太陽光発電等) | ② 住[内] | エコグッズの選択 (LED、家電、給湯、節水等) | ③ 衣 | クールビズ・ウォームビズ、サステナブルファッションの実践 | ④ 買・食 | 地産地消、適量購入・食べきりごみの削減・分別 | ⑤ 職 | テレワークの実践 | ⑥ 移 | 電動車の購入 環境負荷がより少ない移動手段の選択 | ⑦ 基盤 | 情報（教育・ナッジ） インセンティブ |
|-----------|-------------------------------|-----------|-----------------------------|--------|------------------------------|----------|------------------------|--------|----------|--------|-----------------------------|---------|-----------------------|

進捗は毎年、フォローアップを行い、必要に応じて取組・対策を強化します（PDCAサイクルの着実な実施）。なお、その際、必要な項目は「家庭CO₂統計」等を利用し、効果的かつ効果的な調査や把握を行います。

また、中間地点で進捗評価を行い、必要に応じてロードマップを見直します。

「くらしの10年ロードマップ」(概要)

- 初めて**国民・消費者目線**で、**脱炭素につながる豊かな暮らしの道筋**（課題と仕掛け）を**全領域**（衣食住・職・移動・買物）で明らかにし、**官民連携**により行動変容・ライフスタイル転換を促進します。

国民にとっての**ボトルネック**

意欲

導入メリット・意義が不明
昔のイメージのまま敬遠
手間・難しさの忌避感
問題への理解・関心不足

実践

初期費用・大規模支出
導入に時間がかかる
機会・情報が限定・不十分
慣習・制度が実践を妨ぐ

課題解消に向けた**仕掛け** (主な対策)

| | 2024~2026 | 2027~2029 | 2030~ |
|---|-----------|-----------|------------|
| メリット・意義、最新情報を導入機会と同時に伝達（商業・公共施設等を体験・体感の場に） | | | |
| 新築/既存住宅リフォーム+太陽光発電設備・高効率給湯器等のパッケージ化 | | | 住 |
| 商品・ブランド別のエシカル度の見える化 | | | 衣 |
| サステナブルツアー（出張・旅行等）、カーボンオフセット付き旅行保険等 | | | 移 |
| 科学的情報等を行動とセットで提供（DXを活用したワクワク感、楽しさなどの動機付け） | | | 基盤 |
| サブスクリプション型サービスやPPA・リース、環境配慮型ローン等の提供拡大 | | | |
| 公的支援情報を分かりやすく提供し、複数補助制度の一括申請の受付を拡大 | | | 住 |
| 通常リフォームに合わせた+aの断熱、家電販売時の省エネ・再エネのパッケージ提案 | | | 住 |
| リペア、アップサイクル・染め直し等、衣類の交換会、回収リサイクルの場の拡大 | | | 衣 |
| フードシェアリング、フードライブ・フードバンク活動、エシカル商品サービス等の拡大 | | | 買・食 |
| テレワークとマッチするよう必要に応じてルール見直し、必要なサービス・インフラ・情報提供 | | | 職 |
| データ活用した行動見える化、デマンドレスポンス、住民・従業員へのインセンティブ拡大 | | | 基盤 |
| 費用対効果に優れた気付き・ナッジの提供 | | | 基盤 |

行動制約

行動変容・ライフスタイル転換

「デコ活」における連携・サポートの例

- 「デコ活」における主な連携・サポートは、以下のとおりです。
- 詳細は、ポータルサイト (<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/>) をご確認ください。

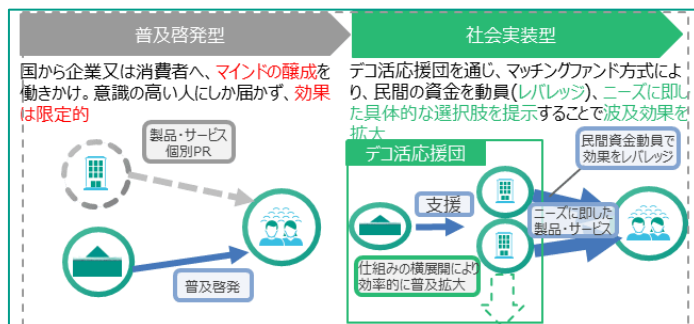
●「デコ活応援団」による連携・マッチング



●脱炭素型「取組・製品・サービス」の発信



●「補助金」による社会実装型取組支援



●「デコ活応援隊」による後押し・サポート



官民連携でみなさまの行動変容・ライフスタイル転換を後押しします！



環境省 地球環境局 デコ活応援隊(脱炭素ライフスタイル推進室)

[隊長(室長)] 清水

[担当] 難波、郡司、水品、海上、堀越、岩尾、鈴木、山崎、清間
中野、大津、山内、中村(広)

住所: 〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2

E-mail: decokatsu@env.go.jp TEL: 03-5521-8341(直通) ※土日祝除く



デコ活応援団事務局(EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社(EY))

E-mail: decokatsu.office@jp.ey.com TEL: 050-3033-2248 (直通) ※土日祝除く

※デコ活応援団に関することはなんでもご連絡ください!



デコ活ローカル(地域地球温暖化防止活動推進センター)

全国に59か所、どこでも相談が無料でできます。各デコ活ローカルの連絡先等は[こちら](#)から!

デコ活ジャパン(全国地球温暖化防止活動推進センター)

※全国各地で身近な相談先をお求めであればこれらの機関にご連絡ください!